

あかるいまち 21

No.1757 2025 年 10 月 31 日
組合員活動推進課 082-532-1264

	10 月	2025 年度
組合員ふやし	133 人	774 人
出資金ふやし	768 万円	7,741 万円
純 増	△245 万円	△1,674 万円

いっしょに考えてみましょう ～社保・公開学習会～

9 月の社保公開学習会は、いつもの学習会とはちょっと違った内容で行われました。どなたかに「講師」をお願いし、学習会のテーマに即したお話を聞きながらの学習ではなく、参加者の率直な疑問、意見の出し合いを通じて、それぞれが学び合い、考え合おうという企画でした。

設定されたテーマは「いっしょに考えてみませんか、私たちの今、そして明日を」で、元・中国新聞記者の難波健治さんに「話題提供」をお願いしました。

9 月 26 日の学習会には、18 人が参加。難波さんから「みなさんが最近気になっていることはありませんか」と問いかけられるとさっそく 3 人の手があがりました。「自民党の裏金問題が新聞に大きく載っていた」「国会議員って、本気で国民を守る気があるのだろうか」「JICA のホームタウンの動きに反発するネットの動きが気になる」。難波さんは、出されたそれぞれの「気になっていること」にコメントを挟みながら、①暑さが異常ですよ、②メスを入れんといけんことがありますよね、③今年は 2025 年、80 年、100 年と節目の話題があります…と新聞記事なども紹介しながら多彩な話題を提供。お話を聞きながら、それぞれの問題意識に沿って真剣に考えを深めているようすが印象的でした。

難波さんからはいろいろな話題もふまえ、最後に「戦後 80 年、我々は何をするのか」と問いかけながら、特に憲法 9 条と日本の平和をめぐる動きにふれて「まとめ的な」お話しをいただきました。また、「治安維持法制定 100 年」を扱った毎日新聞（2025/9/25 付）、「シスター“フット”エンパシー」（ブレイディみかこ；著）なども紹介されました。参加者からは、「刺激的な話を聞くことができた。こういう考えながら、いろいろな人の意見を聞く機会も大切だと思った」などの感想が寄せられました。

